

匝瑳市  
 社会福祉協議会情報誌  
 2014 NOV  
 # 11

# ほっとそと そと

匝瑳の安心を  
 お届けする  
 ホットな情報誌

## 地域の活性化のための 新しい人材 今こそ皆さんと共に創りだいたい



**毎**年、日本の人口は概ね20万人以上減少してします。匝瑳市においても、毎年、年平均420人程度の人口減少が続き、高齢化率は平成26年8月末で30%を超えました。人口減少、少子高齢化を迎え、定年も65歳が主流になり、自営では70、80歳まで現役で働いている方が多くなってきている事を感じます。これは、支えが必要な人は増加しているが、支える側の人は生活を維持する必要性から、地域福祉の担い手として活動する事

が困難な部分があり、減少の一途を辿っているという事と思われず。市民の多くからも地域の人材が足りないとの声を多く頂き、地域の課題として解決する必要があります。

一般的に福祉と関くと介護のことや生活保護、障がい、ことにも関する手当等が連想されお思います。その中で、現在の福祉は「誰もが自分らしく安心して暮らせる環境をつくる」という事が主流に

なって進められています。それは、福祉がどんな方の中にもある生活の一部と言えます。しかし、地域には様々な理由により、人と関わりを持ってない・持ちたくないという方が支え支えられる両方に存在しているのが現実です。両者の相互関係を地域のルールとして定着させ、市民の多くの方が関わり、携わって頂き地域環境を変えていき、今後、その地域の活性化役として「社会福祉推進委員」を地域の皆さんと市社協で創っていきたいと思います。

社会福祉推進委員とは、地域住民の困りごとを把握するために設置させていただきボランティアさんです。

## 社協散歩

社協職員による  
活動レポート

## ラジオ体操で 一人づくり



CDのジャケット撮影風景

**「地域で福祉目標を持つこと」**  
 飯高地区社会福祉協議会では、匝瑳市を「なごみ深い掛け声で楽しむ体」を創ることを目指し、市内からCDの他役員さんで協議した上で、それぞれ役割を決めました。ラジオ体操の号令を匝瑳市に翻訳をしてください。市内のボランティアさんのご協力を得て、ピアノの伴奏を行いました。その後CDのジャケット撮影を経て平成26年5月に10ヶ月間をかけて完成しました。

地元の方からは「なごみ深い掛け声で楽しむ体」を創ることを目指し、市内からCDの他役員さんで協議した上で、それぞれ役割を決めました。ラジオ体操の号令を匝瑳市に翻訳をしてください。市内のボランティアさんのご協力を得て、ピアノの伴奏を行いました。その後CDのジャケット撮影を経て平成26年5月に10ヶ月間をかけて完成しました。

